

佐賀県知事

井本勇様

陳情書

九州新幹線長崎ルートの新
整備案の早期実現とJR肥
前山口駅への停車について

平成4年8月19日

江北町

陳 情 書

江北町の行政推進につきまして、平素から格別の御配慮をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、高速交通網の整備は、本県の産業立地条件の向上、既存企業の活性化はもとより、県民生活の向上にも大きく貢献するものであり、高速交通網の整備の一翼である、九州新幹線長崎ルートの新整備案は、県民の関心も高まり重要性を増してきております。

本町におきましても、佐賀県の中央部に位置し、国道34号・207号及びJR長崎佐世保線に分岐点という町の特性に加え、近年、九州横断自動車道の開通、国道34号江北バイパスの一部開通及び延伸、県道多久～江北線の改良、福富町を結ぶ

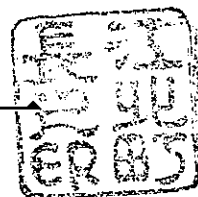
新渡橋（六角川架橋）の着工、さらには、芦刈町を結び佐賀空港建設予定地へ連絡する牛津川架橋の建設計画など、広域交通の要衝としての地理的優位性が増すなかで、平成12年（西暦2000年）を目標年次とした、江北町総合計画を平成3年9月に策定しました。

この総合計画では、社会経済活動の広域化、高速化に対応すべく主要施策として、JR肥前山口駅を核とした交通体系を確立することが、町勢発展の基軸と考えています、その実現につきましましては、佐賀県の格段のご理解とご支援を必要としており、当面最も重要と考えております施策等について陳情します。

平成4年 8月19日

佐賀県知事 井本 勇 様

江 北 町 長 田 中 源 一



江北町議会議長 吉岡林三郎



陳情事項

1. 九州新幹線長崎ルートの新整備案の早期実現について

昭和60年に国鉄（当時）が公表したルート概要では、沿線自治体への併害が多く実現の可能性が低かったが、今回の九州新幹線長崎ルート案はそれらを解消し、実現に向け弾みがつき県勢浮揚に期するものであり、その促進を図ることが肝要であります。

本町では、新整備案を念頭におき町勢発展の指針として、江北町総合計画を策定しており、是非とも九州新幹線長崎ルート新整備案の早期実現に向け、最大限の御努力をお願いいたします。

2. 九州新幹線長崎ルート新整備案 でのJR肥前山口駅への停車に ついて

今後、社会活動の広域化、交流の活発化に対し安全、高速、大量輸送という特性を持つ鉄道は、将来とも公共交通機関としての役割は大きいと確信しております。

江北町はもとより、隣接関係市町10万県民の交通手段の向上を図るため、JR長崎・佐世保線が分岐するJR肥前山口駅が、九州新幹線長崎ルートの停車駅となりますよう、十分な御理解をいただきましまして、その実現について格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。